

平成18年学力検査

全 日 制 課 程 B

第 3 時 限 問 題

社 会

検査時間 11時10分から11時50分まで

監督の先生の「始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

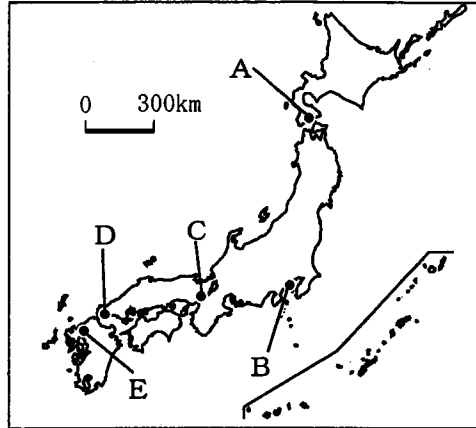
注 意

- (1) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (2) 「始め」という指示で、すぐ学科名と受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (3) 問題は(1)ページから(10)ページまであります。表紙の裏と(10)ページの次からは白紙になっています。受検番号などを記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (4) 答えはすべて解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (5) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (6) 「やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

学科名	科	受検番号	第	番
-----	---	------	---	---

社 会

1 次の略地図中のA, B, C, D, Eは、それぞれ日本の歴史にかかわる場所を示している。これを見て、あとの(1)から(3)までの問いに答えよ。



(1) 次のⅠ, Ⅱの文は、それぞれ略地図中のA, Eに関連する日本の歴史上のできごとについて述べたものである。Ⅰの文中の(①)とⅡの文中の(②)のそれぞれにあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書け。

Ⅰ ペリーが再び来航すると、アメリカ艦隊の威力におされた幕府は、(①)条約を結び、下田とAの2港を開き、水、食料、燃料などを供給することを約束した。

Ⅱ 日本は(②)を助けるために軍を送ったが敗れ、Eのそばに大野城と水城をつくるなど、西日本の守りを固めた。

- | | | | |
|-------------|------|-------------|------|
| ア ① 日米和親, | ② 新羅 | イ ① 日米和親, | ② 百済 |
| ウ ① 日米修好通商, | ② 新羅 | エ ① 日米修好通商, | ② 百済 |

(2) 次の文章は、日本のある時代について述べたものである。文章中の()にあてはまることばと、当時の幕府のおかれた場所を示す略地図中の符号との組み合わせとして最も適当なものを、下のアからカまでの中から選んで、そのかな符号を書け。

2度の元寇により日本の社会は変動した。当時の幕府は()によって支えられていたの
で、彼らの生活が苦しくなると徳政令を出して救おうとしたが、十分な効果はあがらなかった。

- | | | | | | |
|---------|---|--------|---|---------|---|
| ア 旗本, | B | イ 旗本, | C | ウ 守護大名, | B |
| エ 守護大名, | C | オ 御家人, | B | カ 御家人, | C |

(3) 次の文章中の()にあてはまる最も適当な国名をカタカナで書け。

日本は、Dにおいて結ばれた条約でリアオトン(遼東)半島などを獲得した。()はこれ
に対し、ドイツ、フランスとともにリアオトン半島を清国に返還するよう強く日本に要求した。

2 次のA, B, C, Dの4枚のカードは、日本の農業に関する歴史についてまとめたものの一
 部である。これらを見て、あとの(1)から(4)までの問いに答えよ。

A 関東大震災後の経済の立て直しに苦し
 む中、世界恐慌や、東北や北海道の不作
 ①などから、小作争議が急増した。

B 政府は地租改正を行い、土地の所有者
 ②と地価を定め、その地価を基準として、
 地租を貨幣で納めさせることとした。

C 墾田永年私財法の発布により、新しく
 ③開墾した土地であれば、いつまでも私有
 してよいこととなった。

D とくがわよしむね
 徳川吉宗は、享保の改革を行い、新田
 ④の開発を奨励したり、年貢率の引き上げ
 をはかたりした。

(1) A, B, C, Dのカードの中の下線①, ②, ③, ④のできごとを、年代の古い順に並べたもの
 はどれか。次のアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書け。

ア ③→④→①→②

イ ③→④→②→①

ウ ④→③→①→②

エ ④→③→②→①

(2) Aのカードの中の世界恐慌に対する世界の国々の動きについて述べた文として最も適当なもの
 ①を、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書け。

ア 中国で、帝国主義諸国の侵略に反発する排外運動がさかんとなり、義和団事件が起こった。

イ アメリカで、海軍における軍備の制限などについて話し合うワシントン会議が開かれた。

ウ フランスで、巨額の賠償金の支払いなどをドイツに求めたベルサイユ条約が結ばれた。

エ イギリスで、本国とその植民地以外の商品への関税を高めるブロック経済政策がとられた。

(3) Cのカードの中の墾田永年私財法の発布の結果起こったこととして最も適当なものを、次のア
 ③からエまでの中から選んで、そのかな符号を書け。


ア 貴族や寺院などは、農民を使って、さかんに私有地を広げた。

イ 幕府や藩は、海などを干拓することで、大規模な新田を開発した。

ウ 政府は、地主がもつ小作地を買い上げ、小作人に安く売りわたした。

エ 惣にまとまった農民は、荘園領主などと交渉するようになった。

- (4) 次の文章は、Dのカードの中の^④享保の改革のころの農村について説明したものである。文章中の にあてはまる文と にあてはまる続きの文の組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書け。

<p>このころには、農具や農作業の方法の改良が進んでいた。右の絵には、<input type="text" value="I"/></p> <p>また、このころから商品作物の栽培もさかんになった。</p> <p><input type="text" value="II"/></p>	
---	--

- ア I 肥料をつくっているようすが描かれているが、当時から肥料が普及しはじめた。
 II そこで、農村では貨幣経済の広がりから貧富の差が大きくなり、貧しい農民が土地を失って小作人になったり、豊かな農民が地主になったりしていった。
- イ I 肥料をつくっているようすが描かれているが、当時から肥料が普及しはじめた。
 II そこで、農村では貨幣経済の広がりから小作人であった人々も貨幣によって土地を手に入れることができるようになり、ほとんどの人々が自作農になっていった。
- ウ I 脱穀のようすが描かれているが、当時は便利な農具により脱穀の能率化が進んだ。
 II そこで、農村では貨幣経済の広がりから貧富の差が大きくなり、貧しい農民が土地を失って小作人になったり、豊かな農民が地主になったりしていった。
- エ I 脱穀のようすが描かれているが、当時は便利な農具により脱穀の能率化が進んだ。
 II そこで、農村では貨幣経済の広がりから小作人であった人々も貨幣によって土地を手に入れることができるようになり、ほとんどの人々が自作農になっていった。

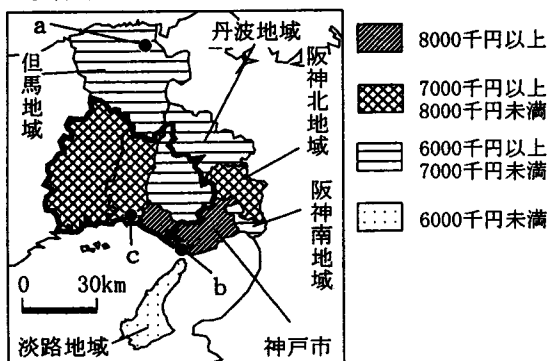
3 次のⅠの表とⅡ、Ⅲの略地図は、兵庫県の特徴を調べるために作成したものである。Ⅰの表は、兵庫県内の10地域（神戸市を含む）の、就業者一人あたりの地域内総生産、第1次産業就業者比率および人口密度を示したものであり、播磨については、A、B、C、Dの4地域に分けてある。また、Ⅱ、Ⅲの略地図は、Ⅰの表に示された就業者一人あたりの地域内総生産と第1次産業就業者比率を、各地域ごとにそれぞれの右に示すように分類し、その結果を図示したものである。Ⅱの略地図中のa、b、cは、県内の都市を示している。あとの(1)から(4)までの問いに答えよ。なお、A、B、C、Dの4地域は、Ⅰの表とⅡ、Ⅲの略地図に太枠で囲って示してある。

I

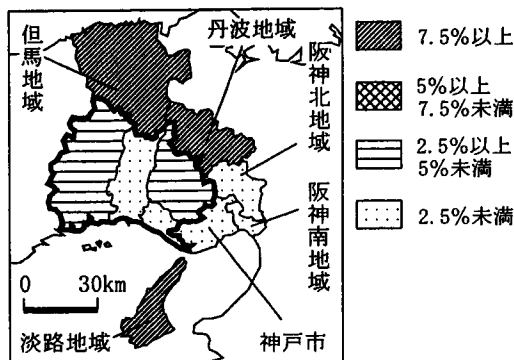
地 域	就業者一人あたりの地域内総生産 (千円)	第1次産業就業者比率 (%)	人 口 密 度 (人/km ²)	
神戸市	8 601	0.8	2 757.2	
阪神南地域	6 716	0.3	6 032.6	
阪神北地域	7 191	1.4	1 483.7	
播磨	A地域	8 518	1.2	2 703.4
	B地域	7 894	1.6	718.5
	C地域	7 500	4.3	177.1
	D地域	6 997	3.6	328.8
但馬地域	6 196	9.3	91.4	
丹波地域	6 369	10.8	134.8	
淡路地域	5 586	20.1	258.6	

(「兵庫県市区町別主要統計指標 平成17年版」による)

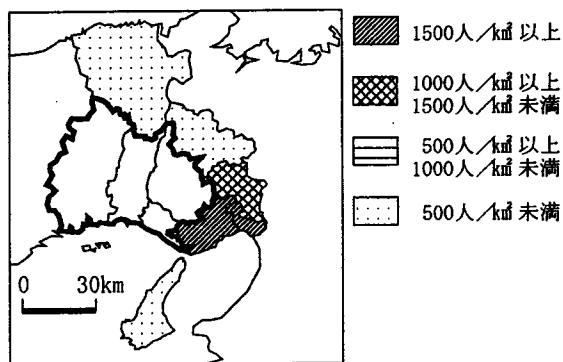
Ⅱ 就業者一人あたりの地域内総生産



Ⅲ 第1次産業就業者比率



(1) 右の略地図は、Ⅰの表に示された人口密度を、各地域ごとに略地図の右に示すように分類した結果を図示したものである。A、B、C、Dの4地域について、他の6地域にならって太枠内に図示し、右の略地図を完成せよ。ただし、該当する地域に属する島には図示しなくてよい。なお、A、B、C、Dの地域名は記入しなくてよい。



(注) Ⅱ、Ⅲの略地図およびこの略地図の地域の境界は2004年末のものである。

(2) Iの表と、IIあるいはIIIの略地図をもとに述べた文として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書け。

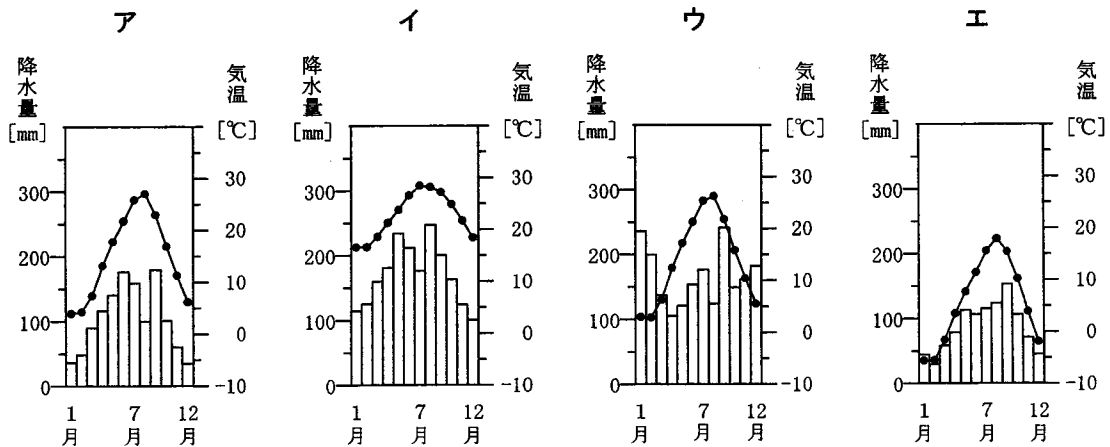
ア 兵庫県内の10地域のうち、但馬地域は、阪神工業地帯を形成しており、就業者一人あたりの地域内総生産の多い順に3位までの地域に含まれている。

イ 兵庫県内の10地域のうち、淡路地域は、本州との連絡橋がないため、就業者一人あたりの地域内総生産の少ない順、第1次産業就業者比率の低い順ともに3位までの地域に含まれている。

ウ 兵庫県内の10地域のうち、第1次産業就業者比率の高い順に3位までの地域は、いずれも淀川が流れ平野の広がる日本海沿岸地域である。

エ 兵庫県内の10地域のうち、就業者一人あたりの地域内総生産の多い順に3位までの地域は、すべて海に面する地域である。

(3) 次のアからエまでのグラフは、IIの略地図中に示したa、cの都市と釧路、那覇について、それぞれ年間の気温と降水量の変化を示したものである。cの都市について示したグラフとして最も適当なものを、アからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書け。



(「理科年表 平成17年版」などによる)

(4) 次の文章は、IIの略地図中に示したb、cの都市について述べたものである。文章中の(①)、(②)のそれぞれにあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、下のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書け。

bを通る(①)の経線は日本の標準時を決める子午線である。cには、白鷺城とも呼ばれる(②)があり、世界文化遺産に登録されている。

ア ① 東経135度、 ② 安土城

イ ① 東経135度、 ② 姫路城

ウ ① 東経35度、 ② 安土城

エ ① 東経35度、 ② 姫路城

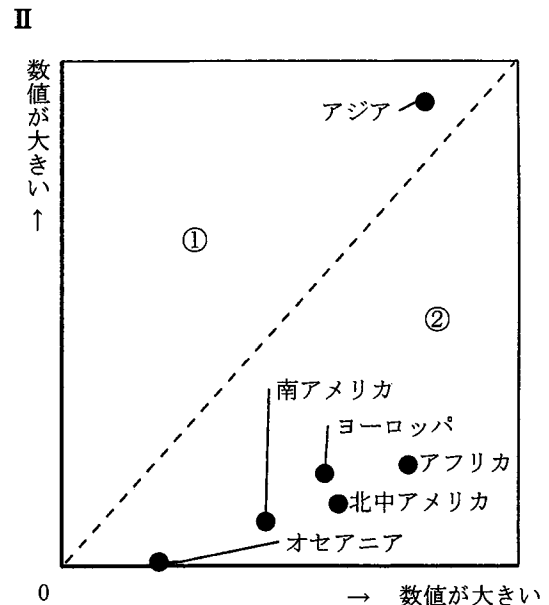
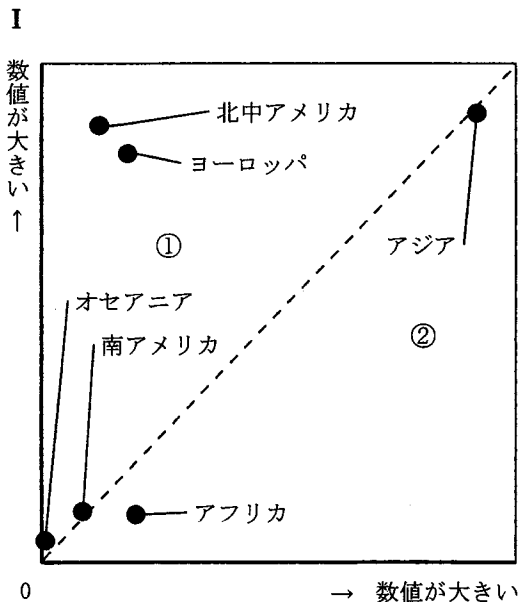
4 次の表は、世界の国々を大陸や州をもとに6地域に分け、それぞれの地域の面積、人口、穀物生産量、エネルギーの消費量について調べたものである。あとの(1)、(2)の問いに答えよ。

地 域	面 積 2000年 (百万km ²)	人 口		穀物生産量 2000年 (千 t)	エネルギーの 消費量 2000年 (千 t)
		1990年 (百万人)	2000年 (百万人)		
ア ジ ア	31.8	3 164	3 672	995 610	2 699 221
ア フ リ カ	30.3	619	794	114 068	286 121
ヨ ー ロ ッ パ	23.0	722	727	385 360	2 455 363
北中アメリカ	24.2	428	487	427 752	2 625 545
南アメリカ	17.8	295	346	104 421	303 956
オセアニア	8.5	26	31	36 311	129 415

(注) この統計では、北中アメリカは、北アメリカ大陸(中央アメリカを含む)の国々およびその近隣の島国で構成され、ロシアはヨーロッパに、トルコはアジアに含まれている。エネルギーの消費量は、石油換算で計算している。

(「世界国勢図会 2004/05年版」などによる)

(1) 次のⅠ、Ⅱのグラフは、表をもとに世界の各地域のようすを調べるために作成したもので、グラフの縦軸、横軸は、各地域の2000年における面積、人口、エネルギーの消費量のいずれかである。Ⅰ、Ⅱのグラフの対角線上に点線を引き、左上の領域と右下の領域に分け、それぞれ①、②とする。Ⅰ、Ⅱのグラフについて述べた文章として最も適当なものを、あとのアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書け。



ア Iのグラフは、縦軸を人口、横軸を面積としたもので、①にある地域は、②にある地域より人口密度が低い。

IIのグラフは、縦軸をエネルギーの消費量、横軸を人口としたもので、①にある地域は、②にある地域より一人あたりのエネルギーの消費量が少ない。

イ Iのグラフは、縦軸を人口、横軸を面積としたもので、①にある地域は、②にある地域より人口密度が高い。

IIのグラフは、縦軸をエネルギーの消費量、横軸を人口としたもので、①にある地域は、②にある地域より一人あたりのエネルギーの消費量が多い。

ウ Iのグラフは、縦軸をエネルギーの消費量、横軸を人口としたもので、①にある地域は、②にある地域より一人あたりのエネルギーの消費量が少ない。

IIのグラフは、縦軸を人口、横軸を面積としたもので、①にある地域は、②にある地域より人口密度が低い。

エ Iのグラフは、縦軸をエネルギーの消費量、横軸を人口としたもので、①にある地域は、②にある地域より一人あたりのエネルギーの消費量が多い。

IIのグラフは、縦軸を人口、横軸を面積としたもので、①にある地域は、②にある地域より人口密度が高い。

(2) 次のA、Bの文は、前ページの表中の2地域について述べたものである。下のX、Y、Zの文章は、表中の3地域についてまとめたものであり、A、Bの文の示す地域はX、Y、Zの示す地域のうちいずれかにあてはまる。A、BとX、Y、Zの組み合わせのうち、同じ地域を示すものの組み合わせとして最も適当なものを、あとのアからカまでの中から選んで、そのかな符号を書け。

A 2000年と1990年の人口の差が最も大きい地域である。

B 2000年における一人あたりの穀物生産量が最も少ない地域である。

X この地域には、南方にある熱帯のほか、乾燥帯、温帯、冷帯などさまざまな気候帯が広がっている。この地域で生まれたある文明では甲骨文字がつくられた。

Y この地域には、赤道付近の熱帯をはさんで、乾燥帯が広がっている。この地域で生まれたある文明では、ピラミッドやスフィンクスがつくられた。

Z この地域には、北方にはおもに熱帯、南方にはおもに乾燥帯や温帯などの気候帯が広がっている。この地域の中のある場所でインカ帝国が栄えたがスペイン人に征服された。

ア AとX, BとY イ AとX, BとZ ウ AとY, BとX

エ AとY, BとZ オ AとZ, BとX カ AとZ, BとY

5 次のⅠの文章は、生徒が生産や消費について学習した結果をまとめたものである。Ⅱのグラフは、即席めん、パソコン、乗用車の市場における生産の集中を示し、Ⅲのグラフは、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、デパートの年間販売額を示している。あとの(1)から(4)までの問いに答えよ。

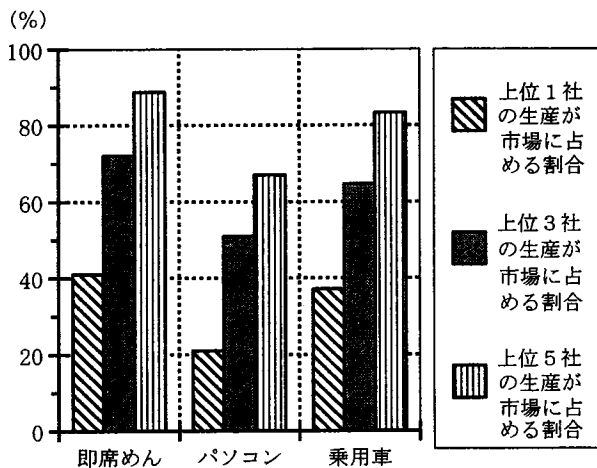
Ⅰ

企業は商品やサービスの生産者であり、生産した商品やサービスを市場に供給する。また、企業の多くは私企業である。

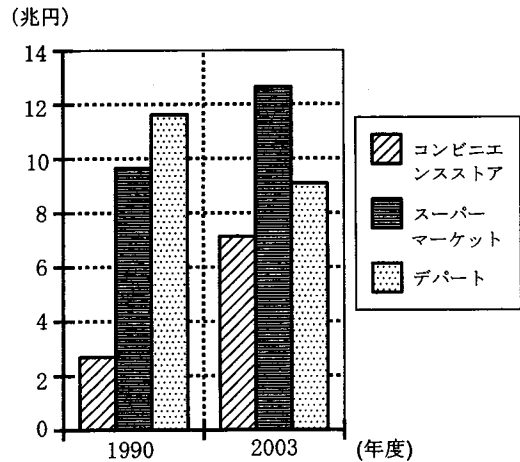
一方、わたしたち消費者は、企業が生産した商品を購入する。その場合、生産した企業から直接購入するのではなく、消費者がコンビニエンスストア、スーパーマーケット、デパートなど、さまざまな小売店の特色を判断し、どの種類の小売店で購入するかを選択することが多い。

多数の生産者と消費者が存在し、自由に競争が行われる市場では、「価格はシグナル」^②としてはたらくといわれている。しかし、ある状況のもとでは、市場における需要と供給の関係では価格が決まらなくなる場合^③がある。

Ⅱ 日本における生産の集中



Ⅲ 年間販売額



(Ⅱ、Ⅲは「日本国勢図会 2005/06年版」などをもとに作成)

(1) Ⅰの文章中の私企業について述べた文として、誤っているものを、次のアからエまでのの中から一つ選んで、そのかな符号を書け。

- ア 個人商店や農家などの個人企業は、私企業には含まれない。
- イ 私企業は、利潤を得ることを目的として生産活動を行っている。
- ウ 水道事業などのような地方公営企業は、私企業には含まれない。
- エ 代表的な私企業である株式会社は、株式発行により資金を集めている。

- (2) 次の表は、Iの文章中の「価格はシグナル」ということばの意味をまとめたものである。表中のXの空欄(a)と(b)、Yの空欄(c)と(d)にあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、それぞれ下のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書け。

「価格はシグナル」ということはどういうことか。	
X	消費者がこれまで以上に必要とするようになった商品 →需要量が増加する。→価格が(a)なる。→生産者が生産を(b)。
Y	消費者がこれまでよりは必要としなくなった商品 →需要量が減少する。→価格が(c)なる。→生産者が生産を(d)。 ⇒商品の価格は、消費者の好みの変化を生産者に伝えるシグナルの役目をしている。

X (a) と (b) について

- | | |
|---------------|---------------|
| ア a 低く, b 増やす | イ a 低く, b 減らす |
| ウ a 高く, b 減らす | エ a 高く, b 増やす |

Y (c) と (d) について

- | | |
|---------------|---------------|
| ア c 低く, d 増やす | イ c 低く, d 減らす |
| ウ c 高く, d 減らす | エ c 高く, d 増やす |

- (3) Iの文章中の市場における需要と供給の関係では価格が決まらなくなる場合について述べた文として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書け。
- ア 需要量にかかわらず、供給量が決められるので、公正取引委員会が価格を決定する。
- イ 電気、ガス、水道などのサービスについては、企業が価格を自由に決めることができる。
- ウ 生産量が圧倒的に多い企業があると、その企業が独占価格を設定することがある。
- エ 不当に高い価格にならないように、日本銀行が貨幣の発行量を増やす。

- (4) IIまたはIIIのグラフについて述べた文として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書け。
- ア パソコンと乗用車の市場は、ともに、上位1社の生産が市場に占める割合が20%を超えており、上位3社では40%を超え、上位5社になると80%を超えている。
- イ 即席めんと乗用車の市場は、ともに、上位3社の生産が市場に占める割合が60%を超えており、上位5社では80%を超えている。
- ウ 2003年度のコンビニエンスストア、スーパーマーケットの年間販売額を、1990年度の年間販売額とそれぞれ比較すると、ともに3倍以上になっている。
- エ 1990年度と比較した2003年度のコンビニエンスストアの年間販売額の増加量は、1990年度と比較した2003年度のデパートの年間販売額の減少量より小さい。

- 6 次の文章は、国際社会について調べたAさん、Bさん、Cさんのまとめの一部である。これを読んで、あとの(1)から(3)までの問いに答えよ。

〈Aさん〉 同じ問題をかかえている国家や地域がまとまりをつくって協力する動きが、顕著になってきている。 <u>EU（ヨーロッパ連合）</u> や <u>NAFTA（北米自由貿易協定）</u> なども、このような動きである。 ^①
〈Bさん〉 人口や食料などの問題において、 <u>先進国と発展途上国との格差</u> が存在する。発展途上国では人口増加率が高く、食料不足となっている国が存在している。 ^②
〈Cさん〉 <u>環境問題</u> は、地域や国家の問題であるとともに、地球規模の問題となっている。 ^③ この問題の解決のためには、国際的な協力や協調が必要である。

- (1) 文章中のEU（ヨーロッパ連合）について述べた文として最も適当なものを、次のアからエまでの中から^①選んで、そのかな符号を書け。
- ア 経済統合をめざすという面において、共通の通貨ユーロの導入が始まっている。
 - イ 国際連合の機関の一つとして、国際法に関する問題を取り扱っている。
 - ウ ソ連など東側に対抗する軍事同盟としてつくり、現在は地域紛争解決を目的としている。
 - エ 核兵器を「持たず、つくり、持ちこませず」の原則により域内から核を排除している。

- (2) 文章中の先進国と発展途上国との格差について述べた次の文中の（ ）にあてはまる最も適当なことばを、漢字2字で書け。^②

先進国と発展途上国との間の経済格差の問題と、その経済格差から生じるさまざまな問題を、先進国と発展途上国の地球上の地理的な位置に注目して（ ）問題とよんでいる。

- (3) 文章中の環境問題について述べた文として誤っているものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書け。^③
- ア 地球温暖化などの影響で、すでに水没の危機に直面している島国がある。
 - イ 日本はクリーンエネルギーの開発など、二酸化炭素の発生をおさえる工夫を進めている。
 - ウ 酸性雨の被害防止のために、フロンガスの使用の推進が国際連合で提唱されている。
 - エ 地球温暖化防止に関する会議など地球環境に関する国際的な話し合いの場がもたれている。

(問題はこれで終わりです。)